

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 28 せつぶん号

2/3日



おにがきた～



2/2日(木)

朝から先生達が、鰯を焼く為の、重い側溝を運んだり、炭や火バサミの用意を始めました。今日は、節分について話を聞いたり、あせびの枝を燃やしたり、鰯の頭を切って、あせびや柵の枝に刺して家に持ち帰る日です。園長先生から「春になる前に、一年間の困った事や、大変だった事を家の中から追い出して、幸せの神様を呼ぶんだよ」と話を聞きました。「みんなの家で、たるかった事や、悲しかった事はなかった？」と聞くと、「インフルエンザのA型とB型になっちゃった」「お母さんが病気になった」「病気で入院したけど頑張って、お医者さんにメダルをもらった」「おじいちゃんが死んじゃったでたかった」・・・などの話をしてくれた子もいました。

あせびの枝は、パチパチと音をたて、勢いよく燃え、煙が鬼の住む山の方に流れて行ったね。みんなで「鬼、くるな～」「鬼くるな～」と大声で叫んだから、きっと山の鬼にも聞こえた事でしょう。ちょっと風が強い中、先生達が「目がいたい」と、煙をよけながら炭で焼いた鰯も「うまかった～！」家に持ち帰った、魔よけの小枝は、玄関に飾って頂けたでしょうか？これだけしたから、鬼はもう来ないよね～と少し安心そうなみんなでしたが・・・さて・・・



みんなのお家から、あせびや柵の枝を貰って、ありがとう。これだけ燃やせば、山の鬼の威力も弱まるでしょう。バスの運転手さんをはじめ、お家のみなさんのご協力、ありがとうございます。

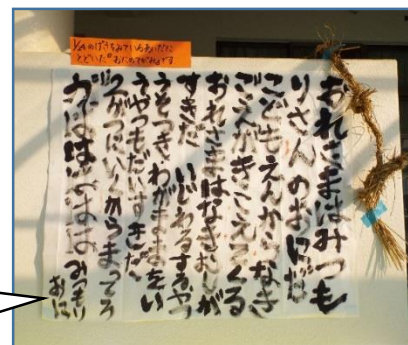


鬼の足跡を見つけてドキドキ

鬼の手紙も来た



年少組のみんなが作ってくれた、鬼のタマ投げ。いつものタマ投げも楽しいけど、行事に合った工夫で、ますますタマ投げの遊びが楽しくなりました。投げるという運動は、幼児期には、大事な運動。鬼をやつける気持で、腕をおもいきり振り抜いて投げよう！このアイデアはgoot！



いいにおい



たすけて～

「おには～そと」



未満児さんも豆まきをしたね

2/3日(金)

園長先生の「たすけて～鬼が来た～」の放送の声に、「ハッ」。昨日、あんなに大きな声で「くるな～」と叫んだのに～。来たんです。赤と緑の大きな鬼！金棒を振り回し、「言う事をきかん子はおらんか～」と。机の下に隠れる子、トイレに逃げ込む子、部屋の隅にひと塊になっちゃった組もあったね。みんなで、豆を拾っては投げると二匹の鬼は、「まいった～！」と三森山に逃げ帰りました。やれやれ、めでたしめでたし。



こどもA「園長先生、だいじょうぶだった？」

園長「服を引っぱられて、もうちょっとで、鬼の岩屋に連れて行かれて、飯炊きばあさんになる所だったに」

こどもB「ぼくなんか、おっぱいパンチしたで」

こどもC「私、鬼と握手したで」

鬼が帰ってからは、英雄談が飛び交ったこども達でした

鬼さんからの一言

「こりゃあ、体力がいるなあ」「来年の引継ぎ事項だ！」と笑ってみえました。元気なかついい鬼さんご苦労様でした。これで新しい春を迎えられます。明日は立春だよ



「鬼祭り」のリズムで元気をつけるこども達でした。